

## 2 指導過程

	学習活動(○基本発問 ◎中心発問)	指導・援助
導入	<p>1 教材に関心をもち、課題を確認する。</p> <p>○どちらにしようか迷う経験はあるか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分で決める時大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の時とどのような感じ方の変化があるのか考えられるようにする。</li> <li>・教材と登場人物を知る。</li> </ul>
展開 前段	<p>2 教材「手品師」を読み話し合う。</p> <p>○主人公と男の子、友人とのやりとりの中で、主人公の「素敵だな」と思ったところと「わかるな(残念だな)」思ったのはどのような所ですか。</p> <p>〈「素敵だな」と思うところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子に話しかけたところ</li> <li>・友人からの誘いを断ったところ</li> <li>・男の子の前で、約束通りすばらしい手品をしたところ</li> </ul> <p>〈わかるなと思うところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人から大劇場の誘いを受けて迷ったところ</li> </ul> <p>○男の子と約束したのに、仲のよい友人から大劇場の誘いを受けた時手品師は、どんな気持ちになったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子との約束を守りたい。</li> <li>・約束を守らない人になりたくない。</li> <li>・約束より夢を優先したいから。</li> <li>・夢が叶うかもしれない。</li> <li>・このチャンスを逃したくない。</li> <li>・友人の誘いだから断りにくい。</li> </ul> <p>◎夢が叶うかもしれない仲のよい友人の誘いをきっぱりと断れたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選択に自信をもっていたから。</li> <li>・自分の手品に誇りをもっていたから。</li> <li>・子どもとの約束を守りたいから。</li> </ul> <p><b>【補助発問】</b></p> <p>○手品師にとって何かを決める時大切にしていることはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子のために約束を守ること。</li> <li>・損得や自分の欲に負けてはいけないこと。</li> <li>・最初に決めた約束を守ること。</li> <li>・男の子との約束を果たせなかったらモヤモヤする。自分や少年を裏切りたくない気持ち。</li> <li>・どんなお客さんでも、手品師として楽しませること。</li> <li>・後悔しない選択をすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を読む前に、手品師のしたこと、「素敵だな」、「わかるな(残念だな)」と思うことを見つけるように投げかけ、よさや気持ちの変化に着目することで、人間理解と価値理解に迫るための視点を焦点化する。</li> <li>・他者理解、人間理解を深めるためにネームプレートを活用し、似た考えを近くに板書し、意見を整理し、自分の考えと照らし合わせて考えられるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>The diagram illustrates the internal conflict of the character. It shows four interconnected concepts: 'Decision' (決意), 'Promise' (約束), 'Dream' (夢), and 'Friend' (友人). 'Decision' leads to 'Promise', which leads to 'Dream'. 'Friend' is connected to 'Promise' and 'Dream' via a 'Nameplate' (ネームプレート). The text around the diagram describes the character's feelings: 'I was happy to be able to do it for the first time', 'I want to keep the promise to the boy', 'There is a chance that the dream will come true', 'I want to prioritize the dream', and 'The friend's invitation is bothering me'.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の理解が苦手な生徒については、自分は何の考えに近いか問い、挙手をさせることで、自己理解ができるようにする。</li> <li>・考え議論する道徳にするために、本時のねらいに迫る意見について、問い返すことで自分の考えの変容や他者の意見を理解できるようにする。</li> <li>・手品師が自信をもって手品をしていることに気づかせ、誠実な選択することのよさを感じられるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【研究内容1】について</b></p> <p>確かな自己理解、価値理解を図るために、「後悔したくない」という意見に対して、「最初はどう思っていたか」、「誰のどの意見を聞いてどう思うか」、「今の自分の意見はどう変容したか」問い返す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価の視点】について</b></p> <p>私利私欲にとらわれず、真心で決断したことよさを理解している。</p> </div>
展開 後段	<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>○「自分で決める時大切なことは何か」について、自己を見つめてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、損得感情が邪魔をして自分が心からやりたいと思った事でも、実行することができなかった。今日の授業を受けて、損得や欲に負けてモヤモヤするのではなく、心がスッキリする選択をしていきたい。</li> <li>・友人に気を使って、団リーダーに立候補できなかった時があった。その後、後悔してモヤモヤしたので自分も相手も笑顔になったり、誇りをもって行動できたりする選択をしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の道徳的価値について、自分の似たような体験や自分の考えの変化を踏まえて自己見つめをするように促す。「誠実」という言葉を全員が理解するために例を提示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価の視点】について</b></p> <p>主人公の選択について自分の思いや経験を振り返り、今後、自分が大切にしたいことについて考えようとしている。</p> </div>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が心に残った話をする。</li> </ul>	